

科目番号	37018	分類	助産学実習	履修者	助産学専攻科	学年	1	
科目名	助産学実習 V (助産管理学実習) Clinical Practice in Midwifery						1	
							配当セメスター 前期・後期	
担当者	米山万里枝/ 和田佳子/ 島田祥子/ 他		区分	必修	単位	1	時間数	45
<b>講義の目標および概要</b>								
<p>病院及び助産所（院）における助産業務の管理と運営について把握する。主に、実習をとおして助産業務における専門性と質の維持向上を遂行するために、いかに生産的かつ効率的に整備し、管理運営を行っているのか、その実際について学ぶ。</p>								
<b>授 業 計 画</b>								
<p><b>実習目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病院における助産業務管理の実際が理解できる。</li> <li>2. 助産所における助産管理の特徴が理解できる。</li> <li>3. 地域母子保健活動が理解できる。</li> </ol> <p><b>実習内容・方法</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助産所(院)の助産実践と地域活動（集団活動・育児サークル、性教育(学校)、各種学級等）に参加する。</li> <li>2. 妊産褥婦を受け持ち、助産過程の展開を用いてケアを実践する。</li> <li>3. 助産所(院)における家庭訪問を体験する。</li> <li>4. 医療安全の確保と医療事故への対応と関連機関等の連携について学ぶ。</li> <li>5. 法的根拠に基づく管理・運営の実際について学ぶ。</li> <li>6. 臨地にてカンファレンスを行い、学びを深め、共有する。</li> </ol>								
成績評価の方法	実習への出席状態、助産過程の展開・実践状況や態度、実習記録内容、分娩介助内容、最終レポートなどから総合的に評価する。							
テキスト	実習要項、資料配布等にて提示							
参考図書								
備 考	臨地実習は学内で学習したことを実践する場です。自分の努力の成果が試されるところです。自分の個性も出ます。主体的な学習を行うことを期待します。							